

自然地域における外来生物緊急対策等事業

平成26年度補正予算額
1,309百万円

グリーンアノール対策

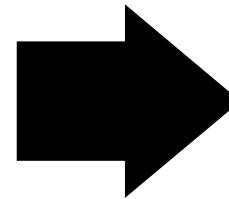


グリーンアノール
(オガサワラゼミを捕食中)

捕食



左:オガサワラアオイトトンボ(父島で絶滅)
右:オガサワラハンミョウ(兄島にのみ生息)



固有トンボ類などの昆虫類を捕食し、地域絶滅等の甚大な被害や、花粉媒介昆虫の減少による植物にも影響をもたらす、**世界自然遺産としての顕著で普遍的な価値を著しく損なうおそれがあるため、早急に対策をとる必要がある。**

緊急対策事業

- ◆ 生息実態・分布実態の把握
- ◆ 粘着トラップによる数の低減
- ◆ 個体群の拡散防止
- ◆ 再侵入の防止
- ◆ 拠点整備



捕獲トラップの設置

⇒ 兄島
での根絶
を目指す

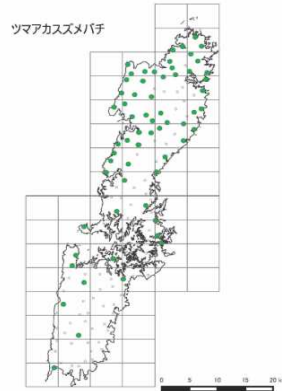
ツマアカスズメバチ対策

- 2003年に韓国釜山で侵入確認
- 2012年に我が国で初めて対馬で確認

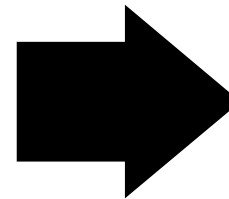
ツマアカスズメバチ



H26.10の分布状況
(緑のポイントで確認)



これまで世界各地に侵入し、生態系、養蜂業への影響、人体への被害を発生させており、本土への上陸が懸念されている。**本土に上陸し分布を広げた場合、対策に膨大な費用と時間を要するため、侵入初期である対馬での駆除が必要。**



緊急対策事業

- ◆ 実態把握:生態系影響調査
- ◆ 被害防止:巣の探索・撤去
- ◆ 繁殖抑制:新女王バチの捕獲



新女王バチの捕獲

巣の撤去

⇒ 本土への侵入を阻止

【事業スキーム】

国

請負

民間団体等